



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月13日

上場会社名 コーユーレンティア株式会社

上場取引所 東

コード番号 7081 URL <https://www.koyou.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梅木 孝治

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 大野 健二郎 TEL 03-6365-6505

配当支払開始予定日 -

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	23,635	3.6	1,647	△22.6	1,680	△22.0	932	△26.6
2023年12月期第3四半期	22,805	19.7	2,129	11.0	2,153	12.5	1,270	40.7

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 925百万円 (△27.9%) 2023年12月期第3四半期 1,284百万円 (42.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	169.93	165.72
2023年12月期第3四半期	234.80	230.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	17,634	10,467	59.0
2023年12月期	19,263	9,776	50.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 10,395百万円 2023年12月期 9,687百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2024年12月期	—	0.00	—		
2024年12月期（予想）				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,000	0.1	1,850	△24.3	1,850	△25.4	1,250	△22.1	227.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期3Q	5,510,900株	2023年12月期	5,472,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期3Q	321株	2023年12月期	321株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期3Q	5,486,886株	2023年12月期3Q	5,412,093株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、決算補足説明資料につきましては、当社ホームページにて開示予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2024年1月1日～2024年9月30日）における我が国経済は、消費の回復や輸出、設備投資の増加傾向が見られましたが、景気動向指数は横ばいの状態にあり、全体的な回復には課題が残っています。設備投資は活発で、公共投資も持ち直しの兆しを見せていますが、建設投資については人手不足や資材高の影響で厳しい状況にあります。また、住宅市場も弱含みで、人手不足や建築費の高騰が影響を及ぼしています。全体として日本経済は回復の兆しを見せつつありますが、地政学リスクや金利、為替の変動等の影響を受けやすい状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは、中期経営計画の達成に向けて、ESG経営を深化する新規事業の創出と経営基盤の強化に取り組むとともに、将来に向けた人的資本の充実を着実に推進してまいります。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（レンタル関連事業）

建設現場向け市場では、東北地区や九州地区で前期の大型設備投資案件の反動減により苦戦しているものの、主要拠点である関東地区や関西地区においては、再開発等の大型案件を中心に売上が堅調に推移しました。

イベント向け市場では、レギュラー案件の受注率は変わらないものの、台風等の自然災害によるイベントの中止や、予定していた案件の失注等が影響し、売上は低調に推移しました。

法人向け市場では、コロナ関連の大型BPO案件が漸次終了したことに加え、第2四半期までの大型BPO案件の失注が影響し、売上は厳しい状況となりました。また、競合他社の攻勢が強く、価格競争において苦戦する状況も続いております。

常設オフィス向け市場では、ファシリティ・マネジメントサービス（オフィスや工場、病院等の移転業務）において、閑散期に積極的に営業活動を行いました。案件の獲得数を伸ばすことができず、売上計画に対して未達となりました。一方でリユース販売では、大型の買取案件が売上の増加に繋がりました。

事業全体の利益面では、イベント向け市場や法人向け市場の売上の落ち込みに加え、主に人件費等の販管費の増加が要因となり、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は13,698百万円（前年同期比1.8%増）となりました。また、セグメント利益は1,231百万円（前年同期比18.4%減）となりました。

（スペースデザイン事業）

首都圏新築分譲マンション市場における2024年1月～9月の発売戸数は、前年同期比21.4%減の13,120戸となり大幅減の状況となりました（(株)不動産経済研究所調べ）。

このような市場環境の中、ファニチャーレンタル業務（マンションギャラリー内のFF&E※提供サービス）では、ウェブや新カタログを通じた営業活動の効果や商品の値上げ効果により業績の向上に貢献しました。

イメージング業務（映像・音響）では、LEDビジョンを用いた映像音響演出サービスが順調に推移し、前年から引き続き好調を維持しております。

モデルルームのビルダー業務では、主要顧客の物件数の減少の影響が大きく苦戦を強いられました。

ライフデザイン業務（インテリアオプション販売等）では、付加価値の高い商品の販売が順調に推移しました。

また、2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）に出展するバビロン関連売上が増収に大きく寄与しました。

事業全体の利益面では、仕入価格の上昇や販管費の増加、モデルルームのビルダー業務における主要顧客の物件数の減少等の影響により、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は4,441百万円（前年同期比16.2%増）となりました。また、セグメント利益は137百万円（前年同期比16.4%減）となりました。

（物販事業）

郵政向け市場では、前期においての特需案件の反動減が見られたものの、第1四半期での新紙幣対応の現金自動出入金機関連の販売が売上高に寄与しました。

官公庁向け市場では、地方自治体の庁舎移転に伴うサービスが好調に推移しました。

事業全体の利益面では、前期の郵政向け市場における特需案件の反動減の影響が大きく、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,514百万円（前年同期比4.2%減）となりました。また、セグメント利益は61百万円（前年同期比44.7%減）となりました。

（ICT事業）

レンタルサービスでは、ICT関連商品の売上が堅調に推移したものの、特定顧客向け案件の縮小により、全体の売上は伸び悩みました。

工事、運搬サービスでは、業務提携先案件の売上が貢献し、好調に推移しました。

コピーカウンターサービスでは、需要の低迷の影響を受けて、売上が減少傾向にあります。また、最近の市況を考慮し、メンテナンスの最低料金を見直しました。

事業全体の利益面では、パソコンの調達原価の上昇等により売上原価が増加したことやレンタル商品の返却により利益率が低下したことが大きく影響し、前年同期比で減益となりました。

この結果、当事業セグメントの売上高は2,980百万円（前年同期比2.9%増）となりました。また、セグメント利益は216百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は23,635百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は1,647百万円（前年同期比22.6%減）、経常利益は1,680百万円（前年同期比22.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は932百万円（前年同期比26.6%減）となりました。

※F F & EはF u r n i t u r e（家具）、F i x t u r e（什器）& E q u i p m e n t（備品）の略称です。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,628百万円減少の17,634百万円（前連結会計年度末比8.5%減）となりました。

（流動資産）

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,813百万円減少の7,443百万円（同19.6%減）となりました。これは主に、現金及び預金が1,460百万円、受取手形及び売掛金が234百万円、電子記録債権が197百万円減少したこと等によるものであります。

（固定資産）

固定資産は前連結会計年度末に比べ184百万円増加の10,191百万円（同1.8%増）となりました。これは主に、賃貸用備品が156百万円増加したこと等によるものであります。

（負債の部）

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,319百万円減少の7,167百万円（同24.5%減）となりました。

（流動負債）

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,268百万円減少の6,442百万円（同26.0%減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が603百万円、電子記録債務が872百万円、未払金及び未払費用が274百万円、未払法人税等が364百万円減少したこと等によるものであります。

（固定負債）

固定負債は前連結会計年度末に比べ51百万円減少の725百万円（同6.6%減）となりました。これは主に、長期借入金が87百万円減少したこと等によるものであります。

（純資産の部）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ691百万円増加の10,467百万円（同7.1%増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が631百万円増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、本日（2024年11月13日）公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,930,939	1,470,176
受取手形及び売掛金	4,181,589	3,947,147
電子記録債権	796,422	598,817
商品及び製品	170,737	296,638
仕掛品	134,445	199,433
貯蔵品	23,719	20,757
前払費用	482,647	527,125
未収入金	442,543	241,220
その他	95,607	143,931
貸倒引当金	△1,380	△1,560
流動資産合計	9,257,274	7,443,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,032,019	1,046,007
機械装置及び運搬具（純額）	14,884	12,656
工具、器具及び備品（純額）	73,036	71,492
賃貸用備品（純額）	2,687,811	2,844,720
土地	3,771,295	3,771,295
リース資産（純額）	161,869	143,929
有形固定資産合計	7,740,916	7,890,102
無形固定資産		
のれん	274,303	241,386
顧客関連資産	345,613	317,590
ソフトウェア	310,749	305,074
その他	18,345	19,022
無形固定資産合計	949,012	883,074
投資その他の資産		
投資有価証券	270,064	260,782
繰延税金資産	211,062	253,671
差入保証金	624,456	672,356
その他	211,491	239,948
貸倒引当金	△712	△8,827
投資その他の資産合計	1,316,362	1,417,931
固定資産合計	10,006,291	10,191,108
資産合計	19,263,565	17,634,795

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,585,483	1,981,564
電子記録債務	1,917,115	1,044,994
短期借入金	900,000	1,200,000
1年内返済予定の長期借入金	534,744	221,277
未払金及び未払費用	610,599	336,460
未払法人税等	672,343	308,176
未払消費税等	270,118	191,541
預り金	167,908	86,540
リース債務	250,100	74,766
契約負債	265,393	272,054
賞与引当金	486,558	705,115
株主優待引当金	29,654	13,031
資産除去債務	2,487	6,066
その他	18,498	678
流動負債合計	8,711,004	6,442,268
固定負債		
長期借入金	87,648	—
リース債務	96,598	86,851
役員退職慰労引当金	197,455	221,784
退職給付に係る負債	122,767	118,698
資産除去債務	271,522	297,513
その他	477	420
固定負債合計	776,469	725,268
負債合計	9,487,473	7,167,536
純資産の部		
株主資本		
資本金	910,286	952,013
資本剰余金	957,163	998,890
利益剰余金	7,732,682	8,364,135
自己株式	△522	△522
株主資本合計	9,599,610	10,314,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	87,678	81,237
その他の包括利益累計額合計	87,678	81,237
新株予約権	88,802	71,503
純資産合計	9,776,091	10,467,258
負債純資産合計	19,263,565	17,634,795

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
売上高	22,805,572	23,635,757
売上原価	13,413,786	14,253,982
売上総利益	9,391,786	9,381,775
販売費及び一般管理費	7,262,655	7,734,171
営業利益	2,129,130	1,647,603
営業外収益		
受取利息及び配当金	9,609	5,589
保険戻金	2,288	16,673
作業くず売却益	8,153	9,871
その他	24,847	15,693
営業外収益合計	44,899	47,829
営業外費用		
支払利息	18,468	13,841
その他	1,820	1,315
営業外費用合計	20,288	15,156
経常利益	2,153,741	1,680,276
特別利益		
固定資産売却益	11,466	815
投資有価証券売却益	50,000	—
特別利益合計	61,466	815
特別損失		
固定資産売却損	400	9
固定資産除却損	0	3,180
貸倒損失	142	—
特別損失合計	543	3,189
税金等調整前四半期純利益	2,214,664	1,677,902
法人税、住民税及び事業税	1,063,637	785,258
法人税等調整額	△119,758	△39,767
法人税等合計	943,879	745,490
四半期純利益	1,270,785	932,411
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,270,785	932,411

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）
四半期純利益	1,270,785	932,411
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,395	△6,440
その他の包括利益合計	13,395	△6,440
四半期包括利益	1,284,180	925,971
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,284,180	925,971

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めておりました「保険返戻金」及び「作業くず売却益」は、金額的重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より、独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「その他」35,289千円は、「保険返戻金」2,288千円、「作業くず売却益」8,153千円、「その他」24,847千円として組替えております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	1,302,191千円	1,578,697千円
のれんの償却額	32,916	32,916

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン 事業	物販事業	I C T 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	13,459,921	3,823,888	2,623,923	2,897,838	22,805,572	—	22,805,572
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	382,952	6,018	8,411	2,428,051	2,825,434	△2,825,434	—
計	13,842,874	3,829,906	2,632,335	5,325,890	25,631,007	△2,825,434	22,805,572
セグメント利益	1,509,974	164,038	111,371	343,299	2,128,683	447	2,129,130

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	レンタル関連 事業	スペース デザイン 事業	物販事業	I C T 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	13,698,580	4,441,916	2,514,694	2,980,566	23,635,757	—	23,635,757
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	357,777	7,878	56,333	2,182,360	2,604,349	△2,604,349	—
計	14,056,357	4,449,794	2,571,027	5,162,927	26,240,107	△2,604,349	23,635,757
セグメント利益	1,231,688	137,142	61,558	216,429	1,646,818	784	1,647,603

（注）セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。